



# 2015年5月期 決算説明会

2015年7月16日

株式会社 **三機サービス**

- I. 会社の概要**
- II. 2015年5月期 決算概要**
- III. 2016年5月期 業績予想**
- IV. 今期の取組み**
- V. 将来への展望**

# I. 会社の概要

社名	株式会社三機サービス
設立	1977年7月
資本金	360,433千円
従業員数	319名（2015年5月末現在）
代表者名	代表取締役社長 中島 義兼
本社（事業拠点）	兵庫県姫路市東延末三丁目12番地白鷺ビル6階
売上高	5,897百万円（2015年5月期）
経常利益	359百万円（2015年5月期）
事業内容	<p><u>空調機器メンテナンス事業</u> パナソニック空調機器のメーカーサービス指定店</p> <p><u>トータルメンテナンス事業</u> 店舗・施設等を対象としたトータルメンテナンスサービス</p>

## 人々の快適で安全な生活を支えるビル管理・メンテナンス事業者

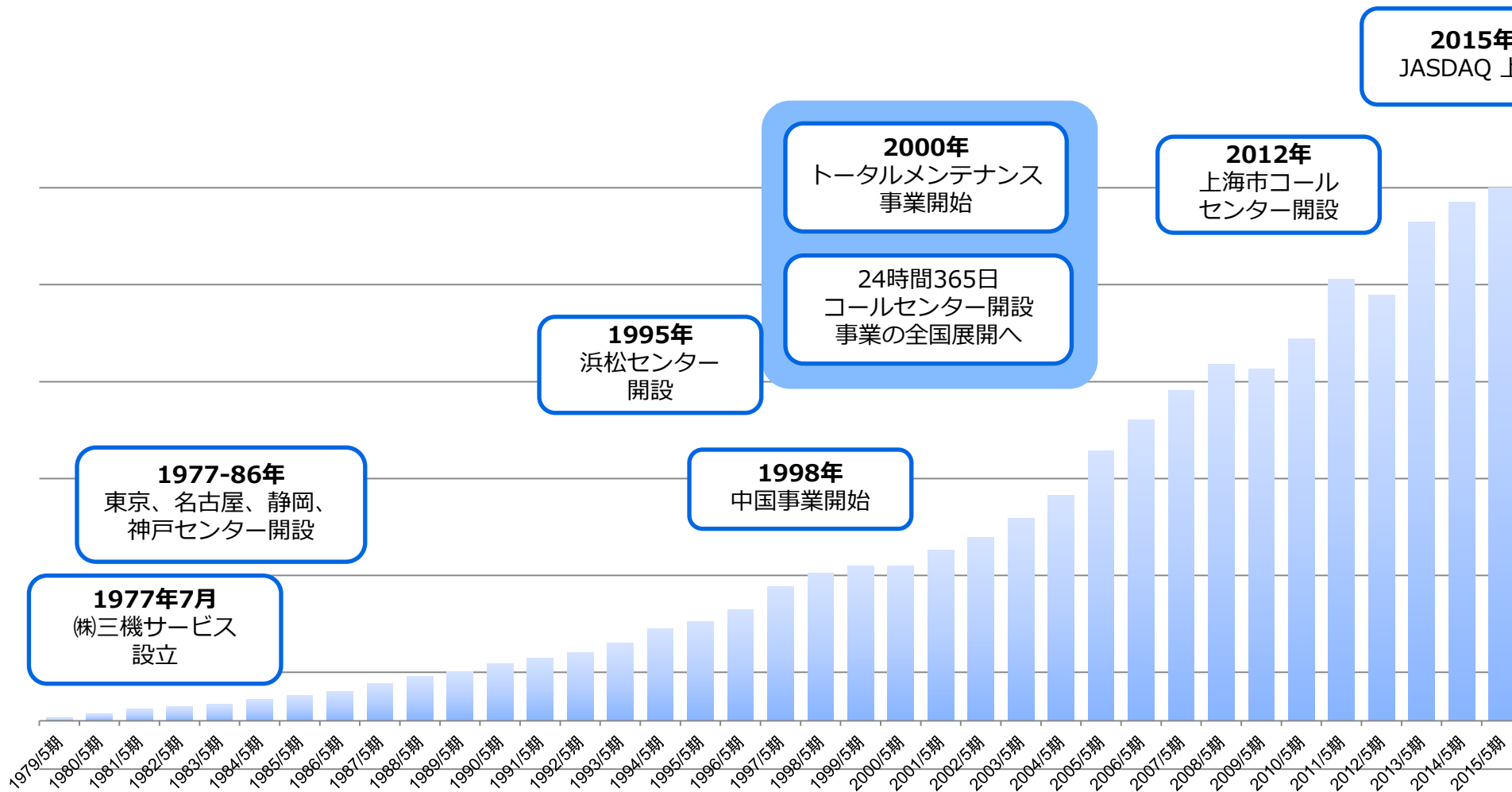
- ・空調機器メンテナンス事業からスタート、業務施設のトータルメンテナンス事業への参入成功でさらなる拡大を目指す

## ストック型モデルで積み上げた着実・安定した成長

- ・価格競争から免疫化されたニッチ業界で、高い技術力を背景に信頼を獲得し30年にわたって安定した収益を維持

## コールセンターを軸に、トータルメンテナンス事業を全国展開へ

- ・伝統の空調機器メンテナンス事業で積み重ねた“技術力とノウハウ”を活かし、活動分野の大幅拡大を目指す



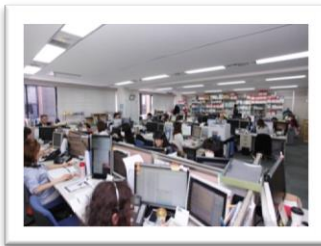
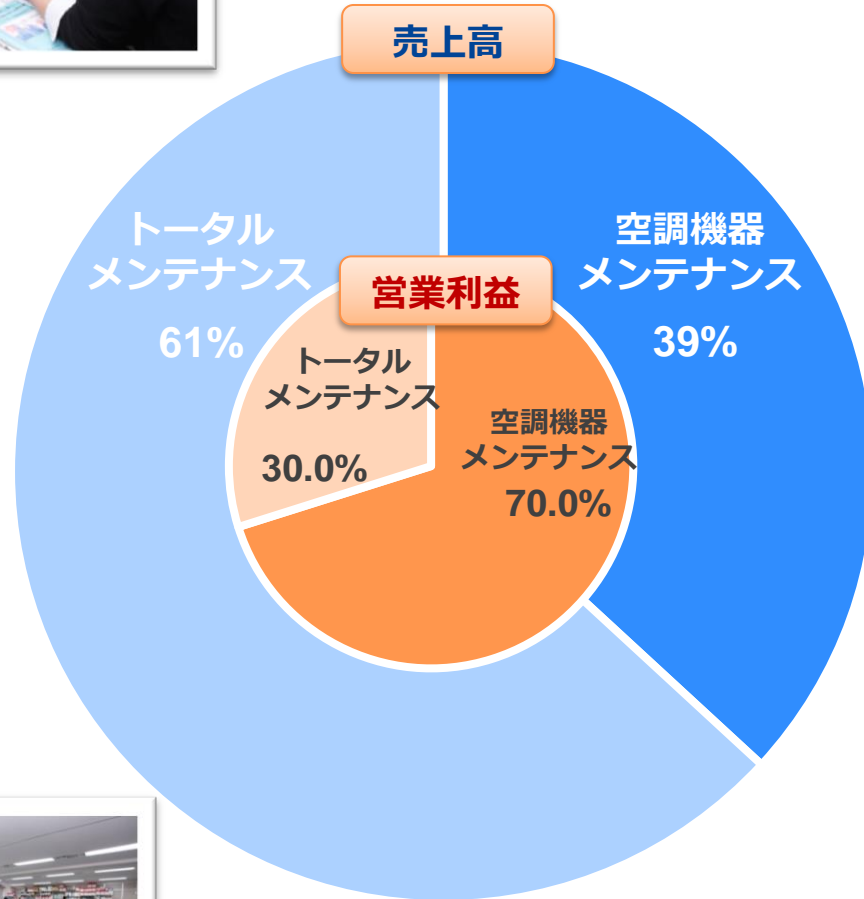
空調機器メンテナンス：ストックビジネスによる安定成長

トータルメンテナンス事業  
参入で成長が加速

2015/5期

売上高

営業利益



	事業内容	顧客の状況	備考
<p><b>空調機器メンテナンス事業 (当社創業事業)</b></p> <p>パナソニック産機システムズの メーカーサービス指定店</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大型空調機器をメイン —定期点検、修理対応</li> <li>省エネ機器の提案</li> <li>技術者⇒ほぼ<b>100%内製</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実質的に1社</li> <li>メーカー内シェア向上 ⇒成長</li> </ul> <p>しかし規模に限界</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>価格競争無し</li> <li>新規営業は無し</li> <li><b>新規参入のほぼない ニッチ市場</b></li> <li><b>ストック型ビジネス</b></li> <li>深耕営業によって業務 範囲をさらに拡大</li> </ul>
<p><b>トータルメンテナンス事業</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>多店舗・多棟の業種を中 心に保守契約</b></li> <li>コールセンター ⇒現場で保守修繕</li> <li>空調、厨房、給排水、 電気設備、など多岐</li> <li>技術者⇒<b>内製 +ローカルパートナー</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>飲食、小売業中心の <b>多店舗展開業種</b>に強み</li> <li>市場は黎明期 <b>ポテンシャル広大</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>強い営業力と 設備投資が必要</b></li> <li>先行投資が終われば 損益分岐点が大きく低下</li> </ul>



## **Ⅱ. 2015年5月期 決算概要**

- ◆ 売上高 . . . . . 5,897百万円  
(計画比 101% 前年比 108%)
- ◆ 営業利益 . . . . . 366百万円  
(計画比 102% 前年比 124%)
- ◆ 経常利益 . . . . . 359百万円(過去最高益)  
(計画比 111% 前年比 124%)
- ◆ 自己資本比率 . . . . . 44% (前年22%)
- ◆ ROE . . . . . 26% (前年44%)
- ◆ ROA . . . . . 15% (前年13%)

高収益事業の空調機器メンテナンス事業が好調に推移し利益を牽引

トータルメンテナンス事業はスポット案件受注により新市場開拓への足がかりをつかむ

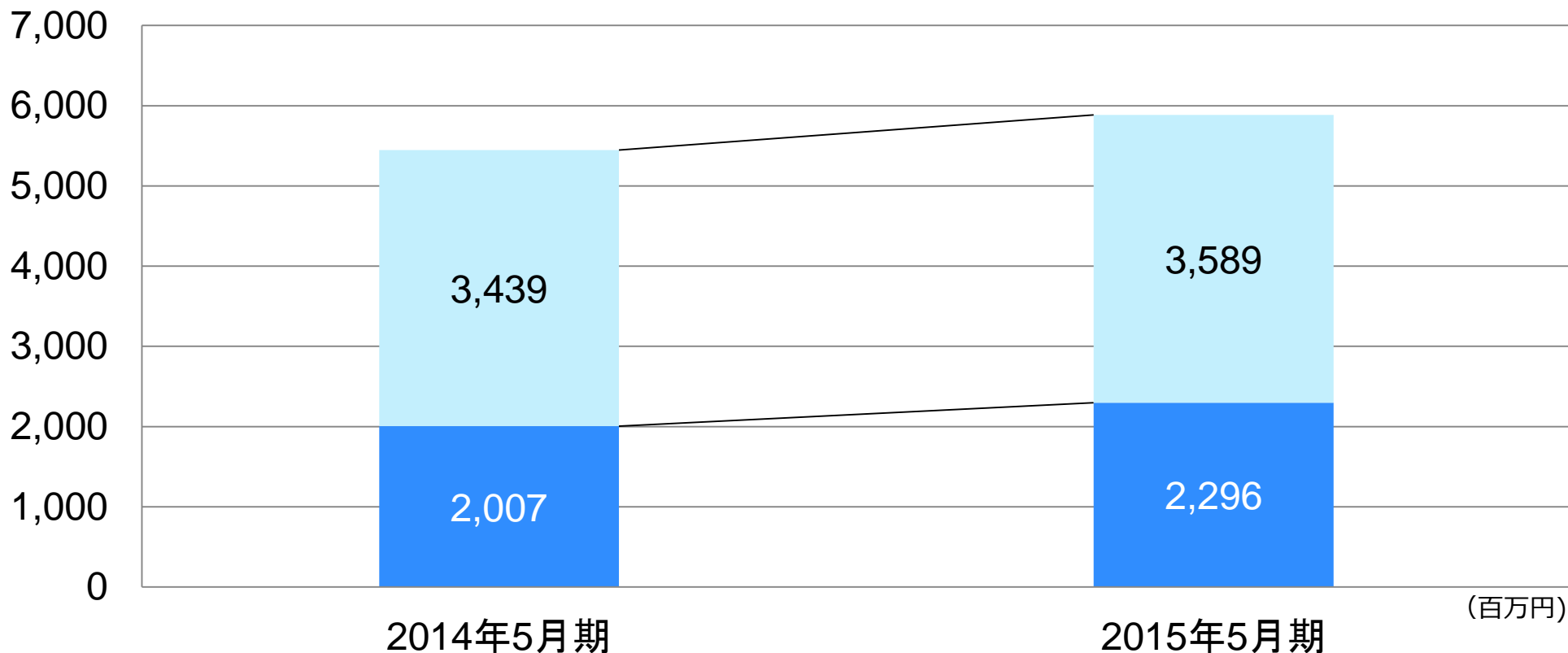
(百万円)

	2014年5月期		2015年5月期		前年比		
		構成比 (利益率)		構成比 (利益率)	増減	増減率	
売上高	空調機器メンテナンス	2,007	36%	2,296	39%	289	14%
	トータルメンテナンス	3,439	63%	3,589	61%	149	4%
	その他	34	1%	12	0%	△22	△64%
	計	5,481	-	5,897	-	416	8%
営業利益	空調機器メンテナンス	191	65% (9.5%)	258	70% (11.2%)	67	35%
	トータルメンテナンス	107	36% (3.1%)	109	30% (3%)	2	2%
	その他	△3	△1%	△1	0%	1	-
	計	295	(5.3%)	366	(6.3%)	71	24%
経常利益		289	(5.3%)	359	(6.1%)	70	24%
当期純利益		164	(3%)	213	(3.6%)	49	30%

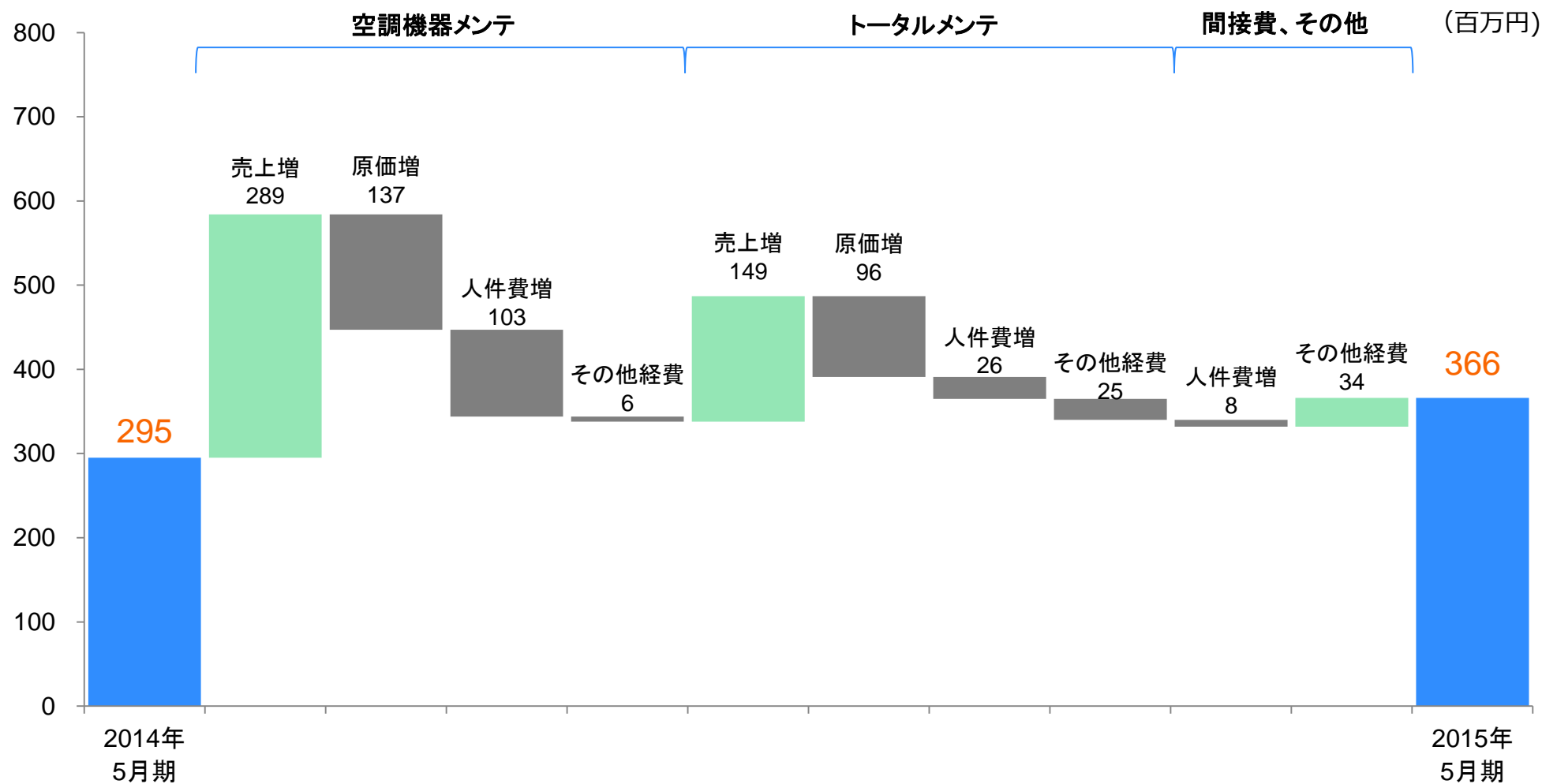
空調機器メンテナンス事業においては、保全メンテナンス及び設備更新工事が増加

トータルメンテナンス事業においては、LED照明・省エネ空調更新工事が増加

■ 空調機器メンテナンス事業    ■ トータルメンテナンス事業



増員による人件費の増加をこなし、過去最高益を達成



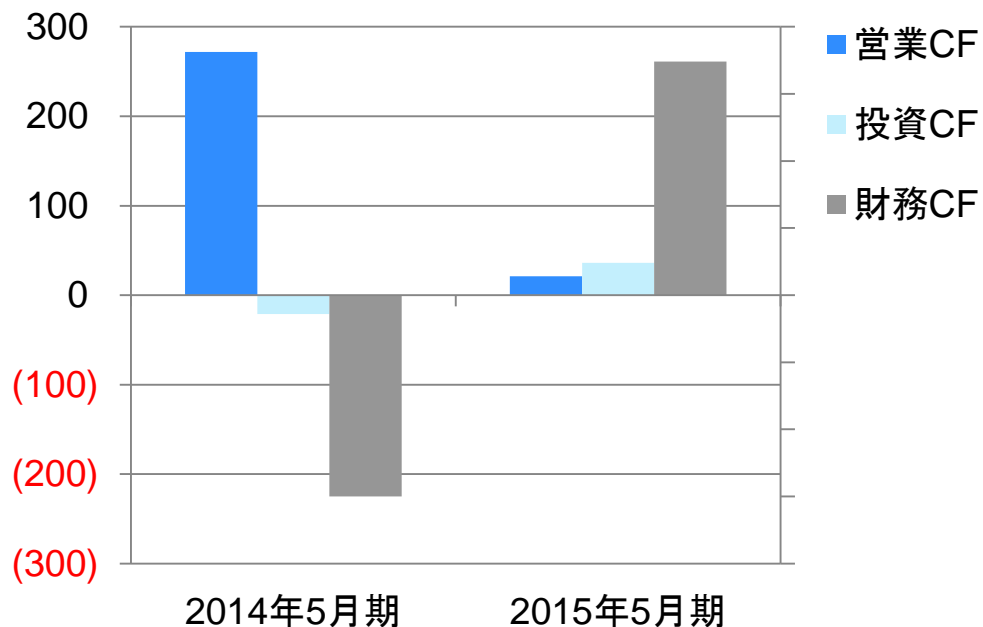
## 主な増減要因

(百万円)

	2014年 5月	2015年 5月	増減額		2014年 5月	2015年 5月	増減額
流動資産	1,763	2,408	645	流動負債	1,098	1,134	36
固定資産	404	318	△86	固定負債	600	384	△216
有形固定資産	89	86	△3	負債合計	1,699	1,518	△181
無形固定資産	20	14	△6				
投資等	294	217	△77	純資産合計	467	1,207	740
資産合計	2,167	2,726	559	負債・純資産 合計	2,167	2,726	559

(資産)	
+225	受取手形
+ 77	売掛金
+352	有価証券
- 33	投資有価証券
-100	繰延税金資産
(負債)	
-117	工事未払金
-213	長期借入金
+ 60	短期借入金
+ 80	未払法人税
(純資産)	
+465	資本金・資本準備金 (公募増資)
+286	利益剰余金

自己資本比率 21.5% → 44.2%



## 営業活動CF 20百万円

主な要因

- +394 税金等調整前当期純利益
- 298 売上債権の増加
- 119 仕入債務の減少

## 投資活動CF 36百万円

主な要因

- + 50 定期預金の払戻
- + 47 投資有価証券の償還
- 63 定期預金の預入

## 財務活動CF 261百万円

主な要因

- +460 株式発行
- + 60 短期借入金の増加
- 213 長期借入金の返済

	2014年 5月期	2015年 5月期	増減
営業活動CF	272	20	△252
投資活動CF	△21	36	58
財務活動CF	△225	261	486
期末残高	361	686	324

(百万円)

## **Ⅲ. 2016年5月期 業績予想**



営業利益 対前年59百万円の増加  
 パナソニックシェアを拡大及びトータルメンテナンス受託を増やし  
 過去最高益425百万円を計画

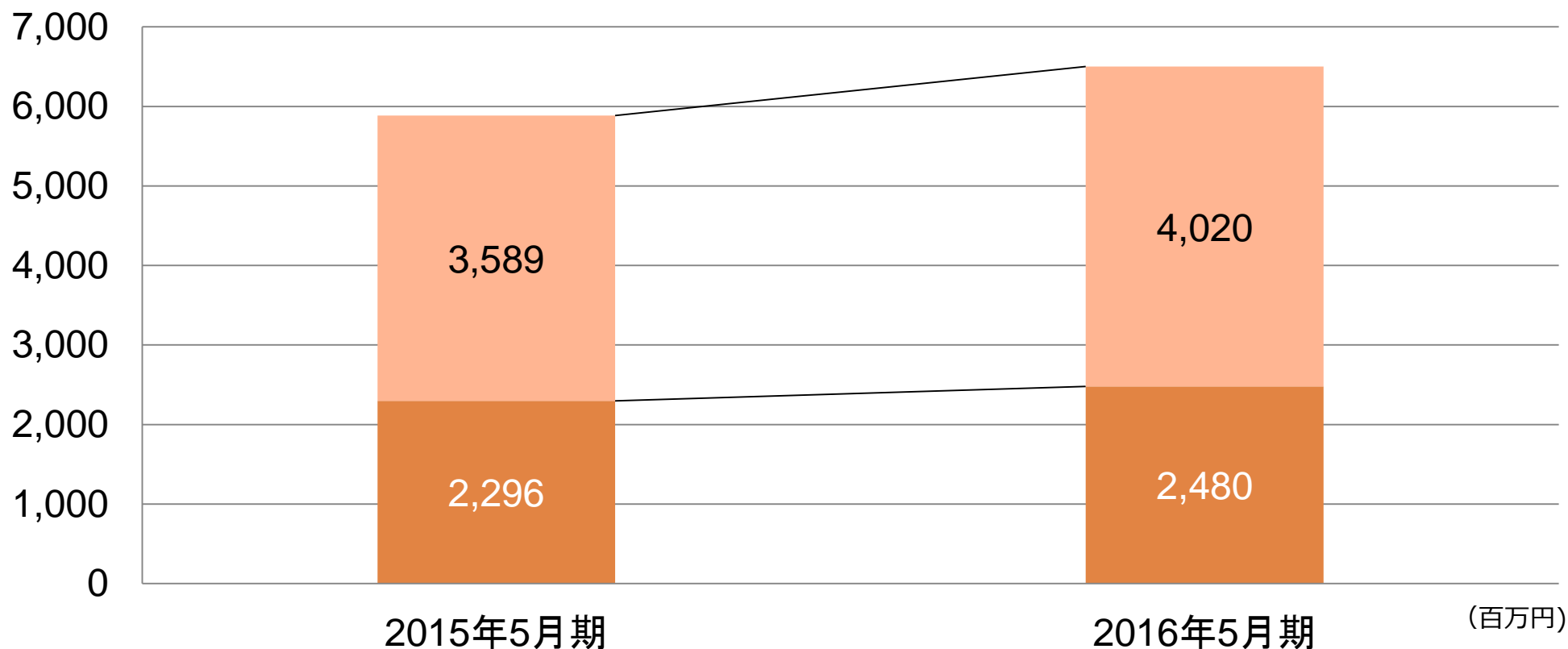
(百万円)

	2015年5月期		2016年5月期		前年比		
		構成比 (利益率)		構成比 (利益率)	増減	増減率	
売上高	空調機器メンテナンス	2,296	39%	2,480	38%	184	8%
	トータルメンテナンス	3,589	61%	4,020	62%	431	12%
	その他	12	0%	0	-	△12	-
	計	5,897	-	6,500	-	603	10%
営業利益	空調機器メンテナンス	258	70% (11.2%)	265	62% (10.7%)	7	3%
	トータルメンテナンス	109	30% (3%)	160	38% (4.0%)	51	47%
	その他	△1	0%	0	-	1	-
	計	366	(6.3%)	425	(6.5%)	59	16%
経常利益		359	(6.1%)	384	(6.0%)	25	7%
当期純利益		213	(3.6%)	248	(3.8%)	35	16%

空調機器メンテナンス事業では直接取引工事に注力し184百万円の増収を計画

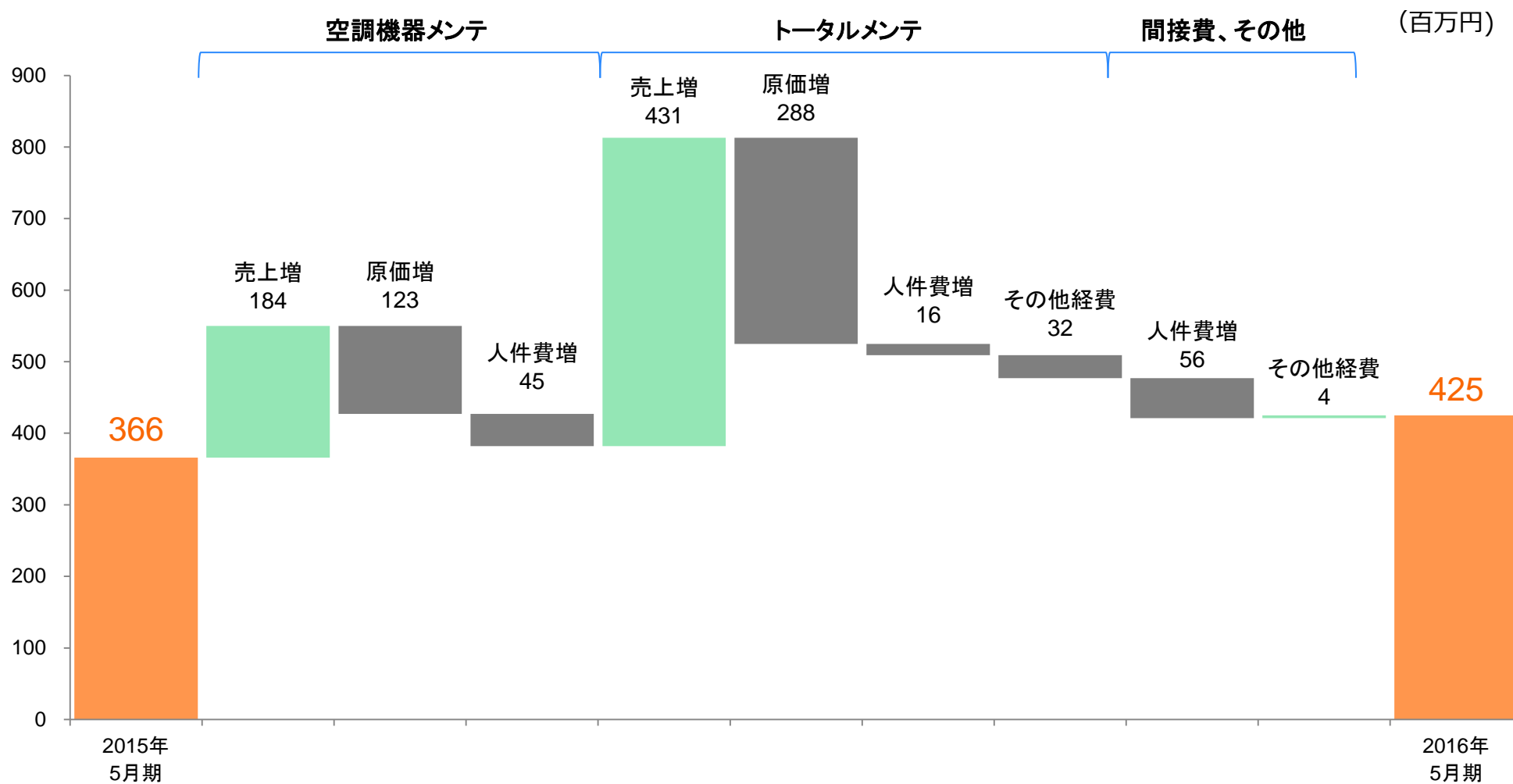
トータルメンテナンス事業では新マーケットを開拓し431百万円の増収を計画

■ 空調機器メンテナンス事業    ■ トータルメンテナンス事業



空調機器メンテナンス事業では新たな分野の売上獲得とともにコストも増加

トータルメンテナンス事業は売上増加とともに利益も増加



## 主要な今期見込み案件

- 大手コンビニチェーンのトータルメンテナンス受託（前期スポット点検受託）
- 大手カラオケチェーンのトータルメンテナンス受託（テスト運用開始中）
- 大手多棟展開介護施設のトータルメンテナンス受託（8月より試験運用）
- 大手ビジネスホテルチェーンのトータルメンテナンス受託（8月より試験運用）
- 大手大型スーパーのトータルメンテナンス受託

## **IV. 今期の取組み**

## 今後の取組み

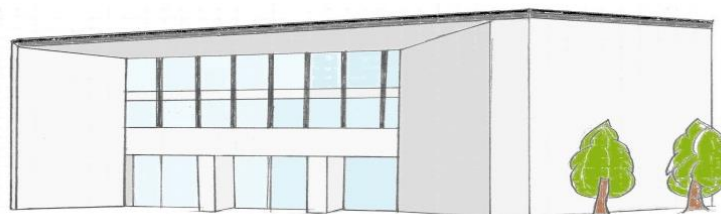
- パナソニック産機システムズ(株)様より受託する**メンテナンスの安定受注**
- 省エネインバータおよび**補助金を活用した**機器設備更新工事の受託
- 各拠点に**営業専任者**を配置し、営業活動を強化
- エンジニアの**短期育成・多能工化**の推進
- パナソニック内**シェア**の向上

## 今後の取組み

- 中大型店舗・施設のトータルメンテナンス受託拡大
- インバータ、補助金を活用した機器更新工事の省エネビジネス拡大
- 専属パートナー化による効率、利益率の向上
- ITシステムの強化（コールセンターWeb機能、分析機能、効率改善）
- 多能工化されたエンジニアの育成

## 今後の取組み

- 各事業で活用可能な**研修センター**を建設（2016年4月オープン予定）  
研修センターを活用しメンテナンスエンジニア育成の**早期化と多能工化を加速**



研修センター 完成イメージ

- **日本水準のメンテナンスサービスの輸出**を視野に入れ、**新たな海外進出先の検討と人材の育成**



## V. 将来への展望

## 今後の配当政策

- 経営成績及び財政状態を勘案したうえで、**配当性向30%**を目途に利益還元
- 2016年5月期は一株当たり**45円配当を継続**予定
- 内部留保については、企業体質の強化及び将来の事業展開のための財源として利用

## 事業の拡大と拡充に向けて

新業態顧客の開拓

多能工化したエンジニアの育成

新たな事業展開の地平へ

省エネ提案の強化

コールセンター機能拡大

### メンテナンス事業を通して顧客価値を創造する

- 自社エンジニアの育成：トータルメンテナンス事業の内製化率を50%に
- エンジニア発信の営業・提案力の強化：省エネ提案を収益源に
- 間接部門のスリム化
- 購買力の一本化、成長企業としてのオペレーション体制の確立

